

シリーズ病診連携

みんなの健康づくり

～食事・治療・歯・薬を考える～

# 教えて！ 健康のコツ

小笠掛川歯科医師会 その7  
(☎22-6120・FAX22-1567)



## 歯を失ってお悩みの方へ 歯科インプラント治療法

### 歯の働きがよみがえる

歯科インプラント治療法とは、むし歯や歯周病あるいは外傷などで歯を失った場合、代わりに人工の歯を植え込むことで、外見はもとより自然な噛み心地などの機能の回復を図る新たな治療法です。

### 年齢にあわせた治療

従来の治療法としては、取り外し式の入れ歯や、固定式のブリッジなどがあげられます。しかし、自分の歯のようには噛めないため、違和感を覚えてしまうなどの欠点があります。これらの欠点を解消することができるインプラント治療法は、欧米で一般的に行われています。

その一方、日本では健康保険のきかない自費治療になることもあり、まだまだ普及しているとはいえない状況です。

### 20歳未満の方

先天的に歯が欠損している場合や外傷、むし歯で歯を失うことがあります。しかし、まだ咬み合わせが完成していないことが多いため、お勧めできません。

### 20歳から39歳の方

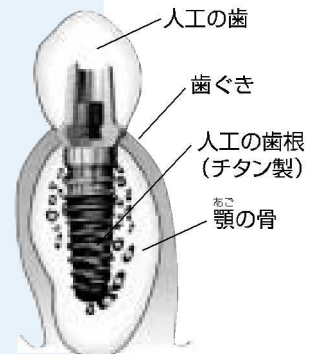
むし歯や、冠をかぶせた歯が悪くなつて抜いた場合に適応します。インプラントはむし歯にはならないため、ブリッジよりも適していることも多いと思われれます。

### 40歳から69歳の方

歯周病により、徐々に歯を失っていく危険度の高い年代です。歯周病の治っていない状態では、インプラントも歯周病菌に感染してしまう可能性があるため、インプラントを入れる前に全体的な治療が必要になってきます。担当医と十分に話し合うことが大切です。

### 70歳以上の方

この年代に限りませんが、入れ歯を使用していて上手に噛めないというような場合、入れ歯の安定のためにインプラントは有用です。ただし、心臓病や糖尿病などの全身疾患や骨の状態により手術時の危険性が高くなるほか、手術を行えないケースもありますので、事前に精密検査を行うことをお勧めします。



### 歯科医師とよく相談

インプラント治療はお口の健康増進に有効なものですが、安易に行えるものでもありません。治療法には、失われた歯の数、インプラントを埋め込む骨の硬さや大きさなどにより、多くの選択肢があります。治療にあたっては、かかりつけの歯科医師とよく相談してください。